

一宮西高

# 同窓会報

第20号

2004年7月20日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局  
一宮市萩原町串作字河田1番地 TEL(0586)68-1191 FAX(0586)69-0196  
E-mail iwh-d@owari.ne.jp



## 自分達の同窓会

同窓会会計

鵜飼俊光

暑中お見舞い申し上げます

同窓生の皆様方には、益々  
ご健勝にてご活躍のことお  
慶び申し上げます。

日頃は、同窓会活動に対し、  
深いご理解とご協力をいた  
だき、心より感謝いたしております。

さて、今年も同窓会総会開催の日が近づいてまいりました。昨年は総会と同時に放第18回生の学年同窓会と放

送部OB会が開催され、懐かしい顔ぶれの中で昔話に花が咲き賑やかなひとときを過ごされました。

実は私が初めて同窓会に出席いたしましたのは、「第9回生集合!」と声のかかつた一昨年のことでした。それまでは多くの同窓生の皆様と同じく会報を拝見するだけでした。ところが卒業して30余年、ひとりひとりそ

れぞれの人生を歩まれた旧友との再会を果たしてくれた同窓会総会は「ふれあいの場所」でした。その体験から、旧友との語らいという「至福の時」を一人でも多くの方々に味わっていただきたいと熱望しております。

東京支部会においても毎年例会が開催され、西校卒業生は東京の地においても固い絆で結ばれており、心強く思っております。

私は数年前の同窓会総会

参加がきっかけで役員をさせていただくことになりました。つまり、西校の卒業生ならばどなたでも同窓会活動に参加できるということです。西校のフロンティア精神を大切にしながら、学年同窓会・クラブOB会など「自分達の同窓会」を楽しんでいただきたいと思つております。

今後の同窓会活動に対して皆様のご協力をお願ひしますと共に、今年度の総会にひとりでも多くの方のご参加をお待ちしております。

## 平成16年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制 第19回生学年同窓会開催)

- ◆ 日 時 8月8日(日)午後5時より
- ◆ 場 所 一宮スポーツ文化センター
- ◆ 会 費 5,000円 (学生は3,000円)

同封のハガキで出欠をお知らせください。  
※来年度は、第20回生(昭和61年卒)の学年同窓会を計画しております。



## 昨年度の総会報告



平成十五年度の同窓会総会はまた会場が変わり、真清田神社参集殿で行われました。前回会場のスポーツセンターの隣ということもあり、迷われた方も見えたようです。昨年度は恒例となつた学年同窓会の全日制第18回生に加えて、放送部の同窓会が同時開催されました。当日は、総会の議事が進行している間も、受付には参加者の列ができ、会場となった宴会場はあふれんばかりの盛況で、「会場が狭い。」「冷房が効いていないのではないか。」との声が届くほどでした。参加者の皆さんにはご迷惑をおかけしましたが、事務局にとつてはうれしい誤算でした。

放送部以外の出席者からも、「今度はわが部」と話が盛り上がっている様子でした。総会に合わせてのクラス会、部活の同窓会は事務局としましても大歓迎ですので、この機会をぜひ活用ください。

なお、ご計画されるときは事務局にもご一報ください。

今年もまた会場が変わり、一宮スポーツセンターです。毎年会場が変わり、会員の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、今回も一宮駅から徒歩圏内です。前回、出席いたいたい方からは、「懐かしい友にあえて楽しいひと時だつた」「今まで無関心だったが今回参加してとてもよかったです」といいました。遠方に見える方も、またお近くの方も、お誘い合わせになつてぜひご参加ください。

## 東京支部同窓会報告

三十四回生 加藤 雄燈



十一月二十二日に、一宮西高校東京支部同窓会が行われました。

今回は、鶴見先生、今枝先生をお迎えしました。今回の参加人数は、昨年と同様25名程。「より多くの方に参加していただき。」といふ、

## 「転任の先生からのメッセージ

前学校長 新谷 富生 先生

三月末日で三八年間の公立高校教員としての勤務が終わりました。

平成十二年四月一日、辞令を受け取った後、緊張感と一抹の不安を抱きながら西高に着任したことがつい先日のよう思い出されます。

それからの四年間は、私にとつて充実した日々であり、先生方や生徒から様々なことを学ぶことができます。

三年の年ということもあり、例年以上に強くそう感じました。こういった機会はこれから大切にしていきたいです。そのためにも、若い後輩の皆さんにも多く参加していただきたいと思っております。



## 尾張の雄たれ——我が西高

澤木 美雪

西高には、平成四年に赴任し道」を掲げている学校は、枚挙に遙がありません。しかし、それを実現することはなかなか至難なことですが、西高生は見事にやり遂げてくれています。校内の部活動場所には生徒が溢れ、明る

次回は、どんな先生方に来ていただけ、どんな会になるのか非常に楽しみです。より大きな、素晴らしい会にしていきたいです。

関東で頑張つてらっしゃるみなさん、次回の西高同窓会ではより大勢で楽しいときを過ごしましょう。

ただけ、どんな会になるのか非常に楽しみです。より大きな、素晴らしい会にしていきたいです。

ただ、どんなん先生方に来ていただけ、どんな会になるのか非常に楽しみです。より大きな、素晴らしい会にしていきたいです。

ただ、どんなん先生方に来ていただけ、どんな会になるのか非常に楽しみです。より大きな、素晴らしい会にしていきたいです。

い声が飛び交い、活気ある活動が続けられる中、先輩後輩の良好な関係が築き上げられる姿を垣間見ることができます。

そこで、私は全員が進学希望、しかも国公立を目指す生徒が多いにも拘わらず、陸上部のインターハイ出場(熊本)、筝曲部の全国総合文化祭出場(福岡)は、大きなエネルギーを全校とんどの生徒が部活動を続け、素晴らしい成果も着実に残してくれました。

中でも、平成十三年度の陸上部のインターハイ出場(熊本)、筝曲部の全国総合文化祭出場(福岡)は、大きなエネルギーを全校とんどの生徒が部活動を続け、素晴らしい成果も着実に残してくれました。

そこで、私は全員が進学希望、しかも国公立を目指す生徒が多いにも拘わらず、陸上部のインターハイ出場(熊本)、筝曲部の全国総合文化祭出場(福岡)は、大きなエネルギーを全校とんどの生徒が部活動を続け、素晴らしい成果も着実に残してくれました。

そこで、私は全員が進学希望、しかも国公立を目指す生徒が多いにも拘わらず、陸上部のインターハイ出場(熊本)、筝曲部の全国総合文化祭出場(福岡)は、大きなエネルギーを全校とんどの生徒が部活動を続け、素晴らしい成果も着実に残してくれました。

# 同窓会 NEWS

学校だということが第一印象でした。二年の中で、学習指導がきめ細かくされるようになつていきました。週末課題が計画的に割り振られ、「青輔」で学習の記録を毎日担任とやりとりしながら、生徒達は担任からの確なアドバイスをもらつて、学習意欲をより引き出していました。先生方と生徒達との二人三脚ともいえる一・二年時を過ごすことによって、三年ではそれぞれの目標に向かって自分でやるべきことをやつしていくことができるようになっています。完全週五制を迎えた平成一四年度以降は四七分七限授業に加えて早朝や業後の補習にも積極的に取り組んでいます。さらに三年生は朝学や補習後の自習室、進路室前での夜七時までの居残り学習と、本当に勉強しています。この日々の努力を継続することで、西高生は、精神的にも逞しく、自分に自信を持つようになるのです。これは、一つの伝統・文化だと言えるでしょう。



先日、進路主任の水野先生から「先輩からの贈り物」を、送つてもらいました。卒業生達の苦しみ、頑張り、喜ぶ姿がよみがえつてきて、彼らと濃密な時間を過ごせた幸せをしみじみと実感しました。担任を始めとして、先生方がほとんど生徒につきあつことで、生徒からの信頼は揺るぎないものとなつているのです。卒業式にも保護者の方々が進路室や職員室へご挨拶に来ていただけのは、信頼の証でしょ。

さて、九年間図書の仕事に携わりましたが、図書館での生徒達とのやりとりにも想い出は尽きません。私が読んで面白かった本を出していくと、一・二日ですぐ生徒が借りて読んでいました。童心に戻つて絵本なども楽しんでいました。「蹴りたい背中」や「蛇にビ

アス」「バカの壁」など、生徒だけではなく西高卒業生の姉が読んでいるといううれしい報告も聞きました。学習に、部活動に、忙しくてほっとする暇もない西高生ですが、少しは図書館で一息ついている生徒達もいたことが大きな支えでした。クリスマスの朝、英語版の『ハリー・ポッター』が図書館にプレゼントされていました。サンタクロースはいるのでしょうか。先生方に多くの寄贈本をいただき、生徒達が喜んで読んでいました。

大澤さんを始めとして多くの先生方のご尽力によってコンピュータ化もできました。授業では垣間見えない生徒の一面に触れ、図書館が元気なこと、生徒も楽しく利用することを念頭に図書館の仕事に携わっていました。

西高が西高であること、これが私の願いです。西高であるためには、日々の弛まぬ努力、それこそ毎日が非常事態という緊張感の持続が不可欠ですが、生徒達の意欲をかきたて、生徒自らにやらせてしまった。西高の益々の発展を心から祈念しています。

西高での思い出は数限りなくあります。中でも心に強く残っているものは、大学入試にまつわる数々の場面です。寒風をついて担任の先生方と激励に出かけたセンター試験とか合格発表当日の興奮に満ちた職員室の様子などです。センター試験の日にはよく雪が降りました。しかし西高生は寒さなどは気にしませんでした。その「燃えて栄光」の横断幕のもとで気勢を上げたものですね。朝五時に起き横断幕を会場まで掛けに入りました。またその時に生徒一人一人の顔が鮮明に浮かび上がっていました。またその時に生徒一人一人の顔が鮮明に浮かび上がってきたことを思い出します。こんな私でも西高では感激と充実感をたっぷり味わえていた大切なことがありました。

西高の生徒たちは優秀です。確かに「孟子が天下の英才を得て、これを教育するは、一つの楽しみなり」と書いていた」と思いますが、まったくそのとおりだと思います。西高は生徒と先生方が信頼関係で強く結ばれた学校であり、そして生徒たちが学習に、学校行事に、部活動において全力を注いでいると思います。そしてそれが立派な成果となつて表れているから生徒が感激に満ちた高校生活を送つていると思います。そんな生

## 西高を去るにあたつて

日比野 英春

徒の成長する姿を、その教師第一の楽しみを十六年間も満喫させていただきたいことはあります。

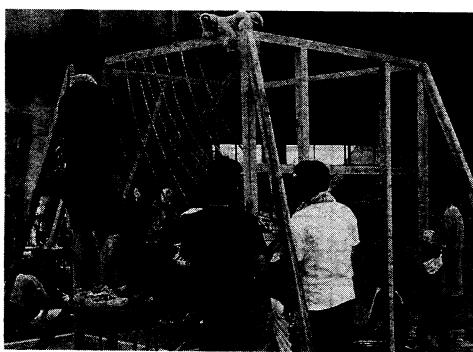
西高で燃え尽きました！

楽しかったことばかりが走馬燈のように私の脳裏に写し出されています。ここに書ききれないほど

多く感動を与えてくれた一宮西

高校、本当にありがとうございました。

西高の益々の発展を心よりお祈りいたしております。



## ◎同窓会報原稿の募集

同窓会事務局では、会報に掲載する原稿を募集しています。

卒業後さまざまな分野で活躍の皆さんのお近況をお知らせください。経営している会社や商店のこと、趣味や旅行のこと、ご家族のこと、何でも結構です。また同窓会の活動や会報についてのご意見、ご要望をお待ちしています。

同窓会事務局あて郵便かFAXまたは、E-mailでお送りください。

西高OBのホームページ

- 9回生の鷲津秀樹さん主宰。西高の学校行事、部活動などの話題や、OB同士が情報交換できる掲示板など盛りだくさんで楽しい内容です。ぜひ、ご覧ください。<http://www.ops.dti.ne.jp/~iwh/>

## 2 西高メーリングリスト

28回生の牧さん主宰。西高の話題を中心に、さまざまな情報交換しています。申し込みは、牧さんまで。

E-mail [maki@claris.office.ne.jp](mailto:maki@claris.office.ne.jp)

## 3 同窓会事務局へのお便り・出欠のご返事もE-mailでどうぞ。

E-mail [iwh-d@owari.ne.jp](mailto:iwh-d@owari.ne.jp)



